お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、 大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守り

器具の改造や指定部品以外の交換はしない。

(火災・感電・落下の原因)

器具を布や紙などで覆わない。

(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)



器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

注意 誤った取扱いをしたとさに、場合すれる 家屋・家財などの損害に結びつくもの 誤った取扱いをしたときに、傷害または

(過熱して火災の原因)



お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の 資格が必要です。 (火災・感電の原因)

器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置か ない。 (過熱して火災の原因)

光を直視しない。(長時間直視すると目を痛める原因)

●照明器具には寿命があります。設置して8~10年経 つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行してい ます。点検・交換をおすすめします。

LED 光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続け ます。点灯出来るからといって継続して使用が可能と いうわけではありません。

※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。



明るく安全にご使用いただくために半年に1回の 保守・点検を行う。

●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短 くなります。

器具は指定の制御装置と組み合せて使う。

- ●3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けく ださい。
- ●点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・ 感電などに至る恐れがあります。

器具の取扱い

■テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤ レス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。

- ■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が 入り正常に作動しない場合があります。
- ■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源 線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

介 警告 電源スイッチを切ってから行う(感電の原因) 器具の清掃

<器具のお手入れについて>

器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が 残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。

シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

<カバーのお手入れについて> カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等 柔らかい布で拭いてください。

⚠注意

点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)

知っておいていただきたいこと

- ○点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。
- ○誘導及び空間波無線に対する影響

使用周波数が数百 kHz の誘導無線 (同時通訳システム) 及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがあります ので事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、器具内蔵の点灯回路は3年間です。 詳細は弊社カタログをご参照ください。

お願い

- LED にはバラツキがあるため、器具内の個々の LED や同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合が あります。ご了承ください。
- LED 光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換ください。
- ●壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。

異常時 の処置

<u>- ∧</u>警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。(火災・感電の原因) 煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、 再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社 連絡先 三菱電機照明株式会社 ☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40 ☎(0467)41-2729 (営業本部)

MITSUBISHI

このたびは三菱照明器具をお買上げいただき ありがとうございました。

E763Z951H21 保管用

三菱LED照明器具

スクエアライト □ 600 [25~100%連続調光形] 本器具は光源寿命末期まで、 常に定格出力の約76%の光束を 維持する様設計されています。

EL-SK10000NM

EL-SK10000WM AHX EL-SK10000WWM AHX

EL-SK10000LM

EL-SK12002NM AHX EL-SK12002WM AHX EL-SK12002WWM AHX **EL-SK12002LM AHX**

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。 ○電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

AHX

AHX

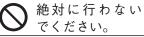
(火災の原因)

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。 ○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守るこ

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、 ⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。 表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。



● 必ず指示に従い行ってください。 行ってください。

益条 仕 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの |引火する危険のある雰囲気で使わない。(ガソリン・

所で使わない)

電源線を器具の外郭に直接触れさせない。 (過熱して火災の原因)

可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある

器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因



配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)



施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術 基準・内線規程に従って行う。

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または 家屋・家財などの損害に結びつくもの

高温(35℃を超える)、高湿(85% RHを超える)、

粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある 場所で使わない。 (落下・感電・火災の原因)

さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わ ない。 (劣化による落下の原因)

器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面に は取付けない。

(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)

屋外や風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。 一般屋内用器具です。(火災・感電の原因)

雨水のかかる場所で使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)



器具の外郭を天井内の造営材・ダクトに触れさせな い。 (火災・感電の原因)

表示された電源電圧以外では使わない。特に定格 電圧の90%以下の電圧使用は、電源ユニットの 短寿命、故障となります。 (火災・感電の原因) 器具のノックアウトを外す場合はドライバー等によ り電線を傷つけない。

(絶縁不良により感電・火災の原因)

お願い

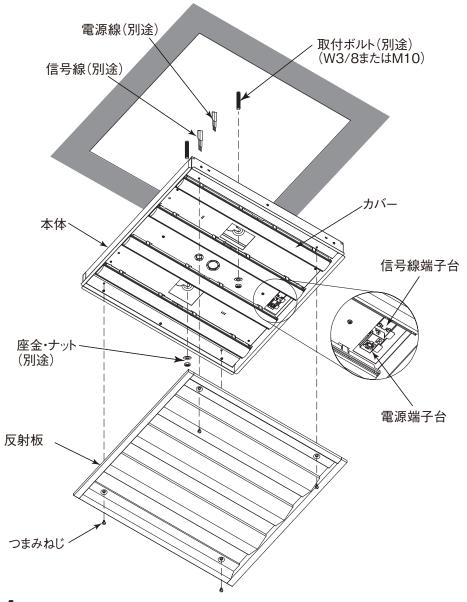
- ■周囲温度は5~35℃の範囲でご使用ください。
- ■硫黄成分を含む温泉地など、腐食性ガスが発生する 場所での使用はお避けください。光学特性等に不具合 が発生することがあります。
- ■器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せ るとチラツキや騒音の発生、電源ユニット故障の恐れ があります。リレー接点式人感センサスイッチをご使 用ください。
- ■油煙のある場所では使わないでください。 (光学特性が低下する原因となります。)
- ■電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力 線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- ■電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチ を電源の高圧側に設置してください。200V電源をご使用 の場合は両切スイッチを使用してください。スイッチを 切っても微放電する現象の原因となります。

	定格電圧	周波数	入力電流			消費電力		
			100V	200V	242V	100V	200V	242V
EL-SK10000 シリーズ	AC100 - 242V	50/60Hz	1.07A	0.54A	0.46A	106W	104W	104W
EL-SK12002 シリーズ	AC100 - 242V	50/60Hz	1.28A	0.64A	0.54A	127W	124W	124W

0

信号線

各部のなまえと取付けかた



1 取付前の確認

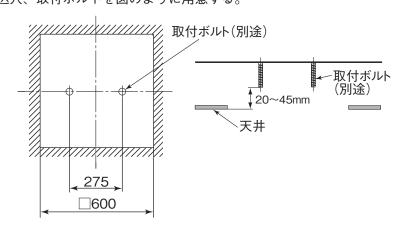
器具質量(約6.7kg)の10倍以上(1ヶ所あたり)に耐えるよう、器具取付部の強度を確保する。

取付ボルトを使用の場合は、W 3/8 またはM 10 を使用する。

器具の取付けは質量に耐える 所に取付ける (落下の原因)

2 天井に埋込穴をあける

埋込穴、取付ボルトを図のように用意する。

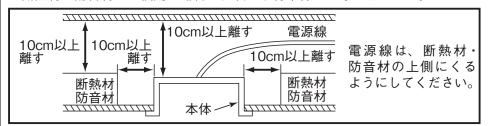


┌≜告-

断熱施工天井に取付けない(火災の原因)

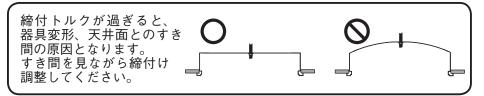


断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。

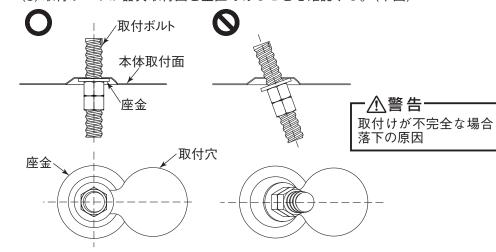


3 本体をボルトに取付ける

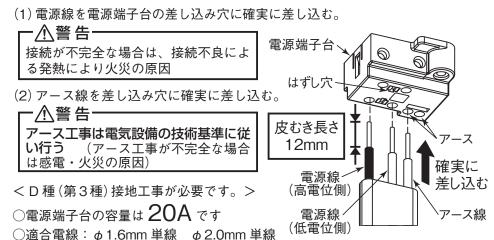
- (1) 電源線・アース線・信号線を器具本体のブッシュ付電源穴・信号線用穴から引き込んでおく。
- (2) 本体を取付ボルトに取付け、ゆるみ止め施工を確実に行う。 (ゆるみ止め:ダブルナット・歯付座金・ばね座金など) ナットの締付トルクは 0.7 ~ 1 N・m です。



(3) 取付ボルトが器具取付面と垂直であることを確認する。(下図)



4 電源線を電源端子台に接続する



一个警告

送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷 し火災の原因)

<u>- ∧</u>警告

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)

- (3) 電源線(アース線)の挿入部は反射板との当たりを防ぐため電源端子台に押し付けるように小さく曲げる。
- ○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。



接続状態

O



信号線端子台

皮むき長さ

10mm

5 信号線を信号線端子台に接続する

○信号線を信号線端子台の差し込み穴に 確実に差し込む。

適合信号線 ϕ 0.9mm $\sim \phi$ 1.2mm CPEV-1P

接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。

-<u>/</u>警告-

信号線端子台には電源線を接続しない (過熱・損傷し火災の原因)

